

国立大学法人 東京農工大学「理系女性のキャリア支援ネットワークの形成」

東京農工大学は、農学と工学の2つの学問分野を主とする理系大学であり、これまでに女性研究者支援モデル育成事業「理系女性のエンパワーメントプログラム」(平成18～20年度)、女性研究者養成システム改革加速事業「理系女性のキャリア加速プログラム」(平成21～25年度)を実施し、女性未来育成機構が中心となって、女性研究者の研究支援環境整備および優れた女性研究者の養成、採用促進に取り組んでいます。平成25年度からは、女性研究者研究活動支援事業(拠点型)「理系女性のキャリア支援ネットワークの形成～広げます農工大式支援ノウハウ～」の採択を受け、本学の女性研究者支援ノウハウを連携機関へ普及する取組を推進しています。

■研究支援システムと環境整備の普及(女性研究者研究活動支援事業(拠点型))

平成25年度、女性未来育成機構に“キャリア支援ネットワーク形成部門”を新設し、5機関(理工農)、13企業(電情・化学・食品)及び“首都圏産業活性化協会”と連携して、女性研究者ネットワークを構築、本学の支援基盤を連携機関へ普及しています。

＜活動内容＞(1)ワークショップ・シンポジウム・SNSを共同運営する。(2)育児期その他機関女性研究者へ研究支援員を派遣し、育児相談窓口を解放する。(3)連携企業との共同研究を加速し、連携大学間で教員メンター制度を構築、女性限定公募等の制度波及を図る。(4)女子学生キャリアセミナーを企業と協働実施し、女性研究者の裾野を拡大する。

■女性研究者の採用(女性研究者養成システム改革加速事業)

女性研究者養成システム改革加速事業の実施期間中(平成21～25年度)、新規養成女性研究者として、毎年3～4名の女性研究者を常勤教員として新規採用し、機構において一定の育成期間を経た後に各専攻に配置しました。また、“農工大式ポジティブアクション「1プラス1」”により、常勤女性教員を毎年2名以上採用しました。これらの取組により、5年度間で17名の新規養成女性教員を含む35名の女性教員を新規採用し、プログラム終了時(平成25年度末)の農学・工学系の女性研究者数はプログラム開始前に比べ2.3倍となり、女性研究者割合は5.4%から12.7%へと加速的な増加を達成しました。

■事業推進体制

女性未来育成機構は、キャリア支援ネットワーク形成部門(支援システムと環境整備の普及)、キャリア加速(教育力向上プログラム)、キャリア開発(研究力向上プログラム)の3部門で構成し、全学的なプログラム推進拠点として女性研究者の活躍支援を行っています。

①キャリア支援ネットワーク形成部門(支援システムと環境整備の普及)

女性研究者支援モデル育成事業で実施してきた「理系女性のエンパワーメントプログラム」の内容を継承しつつ、連携機関へ本学の支援システムと環境整備の取組を普及する。

②キャリア加速部門(教育力向上プログラム)

新規採用した女性研究者の教育力向上プログラムを実施する。メンター教員のサポートの下に、実践講義・実習指導を行う。

③キャリア開発部門(研究力向上プログラム)

新規養成女性研究者および“農工大式ポジティブアクション「1プラス1」”によって新規採用した独自養成女性研究者、既在籍女性研究者が参画し、“女性の視点で考える「安全・安心・健康」”をテーマとする拠点研究を実施する。

これら本学独自の取組により、農学・工学分野における女性研究者の活躍支援を強力に推進します。

【連絡先】 東京農工大学 女性未来育成機構

TEL: 042-388-7362 FAX: 042-388-7362 E-mail: joseispt@cc.tuat.ac.jp

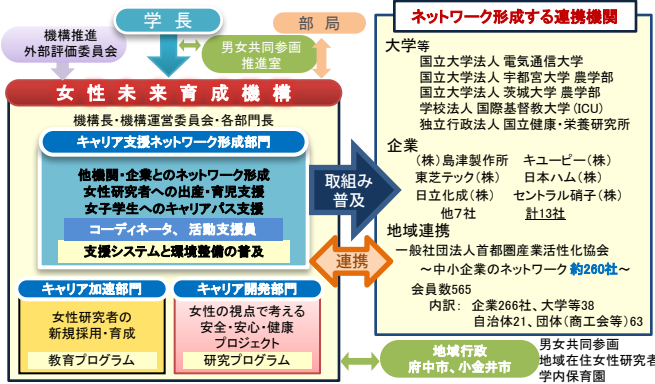
URL: <http://www.tuat.ac.jp/~dan-jo/center/index.html>

理系女性のキャリア支援ネットワークの形成

「女性研究者研究活動支援事業(拠点型)」(平成25~27年度)の取り組み

運営体制

全学的推進拠点として女性未来育成機構を設置し、キャリア支援ネットワーク形成(支援システムと環境整備の普及)、キャリア加速(教育力向上プログラム)、キャリア開発(研究力向上プログラム)の3部門において、本学の女性研究者の研究支援および養成を実施すると同時に、本学の女性研究者支援ノウハウを連携機関へ普及する取組を推進。



1 女性研究者ネットワークシステムの構築

- ・課題別ワークショップ
- ・女性卒業生SNSを連携共有
- ・連携シンポジウム

2 女性研究者の支援環境の共有と拡大

- ・出産育児相談窓口の解放
- ・学内保育園の活用
- ・研究支援員派遣を連携機関へ拡大

3 女性教員の登用・養成システムの普及

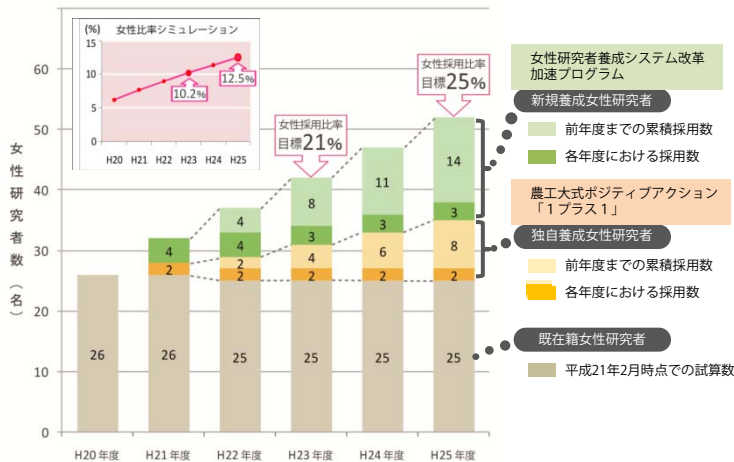
- ・女性限定公募の制度を普及
- ・産学共同研究を加速的に推進
- ・女性教員メンター制度を連携構築

4 女子学生サポートによる女性研究者の裾野拡大

- ・キャリアパス・セミナー
- ・農工大式メンター制度の普及

「女性研究者養成システム改革加速事業」(平成21~25年度)の取り組み

「理系女性のキャリア加速プログラム」 新規・独自養成女性研究者の採用計画



- 女性未来育成機構において、毎年3~4名(5年間で17名)の常勤女性教員を新規採用する。
- “農工大式ポジティブアクション「1プラス1」”により常勤女性教員を毎年2名以上(5年間で10名以上)新規採用する。

女性研究者の加速的増加を目指す

独自経費による 農工大式ポジティブアクション「1プラス1」

常勤の教授・准教授・講師・助教に女性を採用した場合、当該専攻等に、**プラス1名分**の特任助教の**人件費を支給**

キャリア加速部門 教育力向上プログラム

キャリア開発部門 女性の視点で考える安全・安心・健康プロジェクト研究

女性研究者の教育・研究力を育成する

「女性研究者支援モデル育成」(平成18~21年度)の継続支援

キャリア支援部門において、女性研究者支援モデル育成事業「理系女性のエンパワーメントプログラム」の継続支援を実施。

(1)キャリアパス支援

- ① メンター相談窓口制度
- ② キャリアガイダンスの開催
- ③ 女子中高生のサマースクールの開催



メンター相談窓口

サマースクール

(2)出産・育児・介護支援

- ① 学内研究サポートシステム
- ② 産休期間中の専任ポストの配置
- ③ ベビーシッター・介護クーポンの導入
- ④ 出産・育児・介護相談窓口の設置

研究支援例



(3)卒業生支援ネットワークの構築

- ① 卒業生ネットワークシステム(SNS)の構築
- ② 卒業生ブラッシュアップのための学費減免制度



農工大SNSトップページ

(4)エンパワーメント環境整備

- ① 講演会・シンポジウムの開催
- ② 職員就業規程の改定
- ③ 事務手続きハンドブックの発行
- ④ 学内保育所の設置



学内保育所(府中・小金井)